



#### 水道 GLP 認定証授与式（3月13日）

水道 GLP 認定委員会で認定の更新が決定した岡山県広域水道企業団（認定番号：JWWA-GLP102）の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会理事長室において行った。



#### 第722回抄録委員会（3月13日）

本誌6月号及び7月号に掲載する外国文献の抄録内容等について審議を行った。

#### 水道 GLP マネジメント・レビュー（3月14日）

日本水道協会は、吉田理事長及び関係者出席のもと、水道 GLP マネジメント・レビューを実施した。認定検査機関は、現在の135機関まで順調に伸び、日本の水道水質の信頼性確保に大きく貢献している。

マネジメント・レビューでは、事務局からプログラムに沿って、水道 GLP 事務局に対する内部監査及び前年度のマネジメント・レ



ビュー結果表に対する対応状況、並びに平成29年度の水道 GLP の審査・認定状況等について報告するとともに、規範を平成30年4月に改正する予定であることを報告した。

吉田理事長からは、今後も効率的な認定業務の遂行に努めること、審査力量の維持・継承並びに向上を図ること、また水道 GLP 認定取得の意義や効果等について積極的に情報発信することなどの指示があった。

#### 第6回訓練実施方法等検討小委員会（3月19日）

はじめに、事務局及び7地方支部長都市出席者より日本水道協会 全国地震等緊急時訓練 平成29年度情報伝達訓練の実施について、報告を行った。

次に、審議事項1「日本水道協会 全国地震等緊急時訓練 平成29年度情報伝達訓練の報告書について」、審議事項2「日本水道協会 全国地震等緊急時訓練 平成30年度応援訓練について」説明し、それぞれ審議を行った。

最後に、事務局より今後のスケジュールについて、報告を行った。



#### 第964回会誌編集委員会（3月19日）

本誌4月号の編集方針、投稿原稿の査読、新規原稿の取扱い等について審議を行った。

#### 第130回水道 GLP 認定委員会（3月20日）

水道 GLP 認定について、一般社団法人京都微生物研究所（JWWA-GLP136）が新規認定検査機関として、北九州市上下水道局（JWWA-GLP002）、新潟市水道局（JWWA-GLP007）、株式会社日本環境技術センター（JWWA-GLP059）、株式会社環境公害センター（JWWA-GLP061）と西宮市上下水道局（JWWA-GLP109）が認定更新検査機関として、一般財団法人上越環境科学センター（JWWA-GLP083）が認定維持検査機関として、それぞれ審議され決定された。

### 第250回衛生常設調査委員会（3月22日）

最近の水道水質管理の動向について、東厚生労働省水道水質管理官から説明があった。

水道における微生物問題検討会において、クリプトスポリジウム対策における地表水へのUV適用の検討が提案された。また、水道水質基準項目である六価クロムについて、現行基準の0.05mg/Lの見直しの可能性がある。

JIS規格のビスマス青銅铸件等の追加によるJWWA規格改正のための衛生性調査、水道用粉末活性炭規格の追加情報、及び水道用次亜塩素酸ナトリウム規格の追加情報について審議が行われ、承認された。

その後、水質試験方法等調査専門委員会（上水試験方法（2011年版）の改訂）、水道用薬品及び資機材の衛生性調査専門委員会、突発水質汚染の監視対策指針改訂委員会、業務委託積算要領等に係る専門委員会・水質部会並びにISO/TC224等上下水道関連国際標準化について状況報告が行われた。



### 第188回工務常設調査委員会（3月23日）

「JWWA規格の改正・廃止等の案件」について審議した。このほか、「浄水場におけるリスクアセスメント（労働災害防止）の手引き策定専門委員会（最終報告）」、「水道施設維持管理業務委託積算要領の改訂検討状況」、「（仮称）設備工事監督員マニュアルの検討状況」について各専門委員会委員長から報告を行った。

また、「ISO/TC224等上下水道関連国際標準化の動向」や「水道法改正に係わる状況」等について事務局より報告を行った。



### 平成29年度第5回理事会（3月27日）

吉田理事長が議長となり、報告事項1「公益社団法人日本水道協会の会務」、報告事項2「日本水道協会全国地震等緊急時訓練」について、それぞれ事務局から報告があった。

続いて、第1号議案「会員の入会」、第2号議案「公益社団法人日本水道協会平成30年度事業計画書及び収支予算書の承認」、第3号議案「公益社団法人日本水道協会第92回総会の開催及び開催通知の送付」、第4号議案「平成30年度水道イノベーション賞」についての4件が上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。



### 第14回水道 GLP 運営委員会（3月27日）

第14回水道 GLP 運営委員会（委員長 松井佳彦北海道大学大学院教授）を開催し、水道 GLP の審査・認定状況等を報告した。委員会では、水道 GLP システムの運用開始から13年目を迎え、135箇所が認定され、日本の水道水質検査機関の検査結果の信頼性向上に役立っていることを確認した。

今後もより一層のシステム全体の点検を行うとともに、「公平・中立・平等」の基本理念に沿って、認定機関の増加に対応すべく審査の効率化や審査技術の向上に努め、水道 GLP を更に進展させるようにとの意見が出された。

### 第139回事務常設調査委員会（3月28日）

はじめに、審議事項1「副委員長の互選について」、広島市水道局次長の平尾委員が選出された。

次に、審議事項2「地下水利用専用水道等に係る水道料金の考え方と料金案追補版の作成について」、去る1月11日に開催された第99回経営調査専門委員会での決定のとおり、作成することが了承された。



続いて、報告事項1「地震等緊急時対応特別調査委員会について」、報告事項2「水道統計総論及び水道統計の経年分析における図表の追加・修正・削除について」、報告事項3「加入金の徴収状況について」等、それぞれ事務局からの報告に基づき意見交換を行った。

### 第30回 JIS 製品認証業務運営委員会（3月28日）

はじめに、議題1「正副委員長の互選について」を事務局より上程し、委員長に東京都水道局の牧田建設部長、副委員長に水道バルブ工業会の若林専務理事がそれぞれ選出された。

次に、議題2「第27・28・29回 JIS 製品認証業務運営委員会議事録（案）について」を事務局より説明し、了承された。

次に、議題3「JWWA-002 製品認証業務規程の改正について」、議題4「JWWA-107 JIS 製品認証に係る費用規則の改正について」を上程し、慎重審議の結果、了承された。

続いて、「平成29年度製品認証の業務報告について」を含めた10件の報告事項について事務局より報告を行い、了承された。



### 第98回検査事業委員会（3月28日）

はじめに議題1「副委員長の互選について」を事務局より上程し、副委員長に村田大阪市水道局浄水統括担当部長が選出された。

次に、議題2「第97回検査事業委員会議事録について」、議題3「検査工場の不正行為に関する処分について」を事務局より説明し了承され、議題4「検査規程等の改正について」（①日本水道協会水道用品検査規程、②

日本水道協会材質試験所承認に関する規則）を事務局より上程し、了承された。

続いて、議題5「検査施行要項の改正について」（①水道配水用ポリエチレン管検査施行要項、②水道配水用ポリエチレン管継手検査施行要項、③水道用ダクタイル鋳鉄管内面エポキシ樹脂粉体塗装検査施行要項）、各要項の改正については、検査施行要項等専門委員会委員長の瀧川大阪市水道局工務部技術監理担当課長より専門委員会の審議結果について報告を行い、慎重審議の結果、一部修正の上、了承された。

次に議題6「Cマーク表示制度施行規則（仮称）の制定について」を上程し、事務局より説明を行い、慎重審議の結果、了承された。

その他、平成24年度から平成28年度までの検査実績について事務局より報告を行った。





---

水道協会雑誌平成30年4月号掲載記事の訂正について

本誌平成30年4月号に掲載いたしました「ニュース（巻頭）」につきまして、掲載内容に一部誤りがございました。ここに深くお詫びし、訂正申し上げます。

水道 GLP 認定証授与式 ※3頁、「認定番号」について

〈正〉

神奈川県内広域水道企業団  
(認定番号：JWWA-GLP003)

〈誤〉

神奈川県内広域水道企業団  
(認定番号：JWWA-GLP006)

〈正〉

神奈川県企業庁  
(認定番号：JWWA-GLP006)

〈誤〉

神奈川県企業庁  
(認定番号：JWWA-GLP003)